

平成 30 年度 第 1 回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：平成 30 年 5 月 29 日(火) 午後 4 時 00 分～5 時 00 分

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：千坂経悦、望月 武、中野正文、吉澤 秀、清水重男委員

長瀬教育長 桑原文化振興部長、事務局 4 名

進 行：佐藤市民学習支援課長

1 開 会

2 委嘱状交付

教育長より

3 自己紹介

委員さんより順次自己紹介

(部 長) 今年度も全力で取り組む所存でございます。よろしくお願いします。

4 あいさつ

(教育長) 委員の皆様お忙しい中ありがとうございます。ふるさと館も新しいスタッフになりまして、いろいろ積極的に取り組んでおります。

3 月には丸山邦雄展を行い、9 月 8 日には桑原部長、佐藤課長を中心に飯山市講演会を企画しています。ポール邦昭ご夫妻、妹さんも講演会に来ていただけると言う事で、飯山市としてさらに気合をいれてやらなくてはいけないと思っております。さらに情報発信をしながら、ますますふるさと館が市民にとって情報の入手、あるいは情報の発信の場として活用していただければありがたいと思っております。

また、今年は明治維新 150 年という事で、飯山戦争の特別展を企画しております。担当が、いろいろ新しい資料を集めており、今までと違った飯山戦争の特別展になるのではないかと期待しております。いずれにしましても、飯山市ふるさと館が、この地域ばかりではなく、県または日本に向かって情報発信していければありがたいと思っております。学校関係では、市内はもちろん、いろんな所から研修においていただいておりますが、それをもっと拡大していければありがたいと思っております。今日はよろしくお願いします。

(会 長) 教育長のあいさつにもあったとおり、情報発信として、ふるさと館は役目は果たしてきていると思います。ふるさと館は、点としての機能であったものが段々メインが構成されまして、いろんな所と連携がなされていると感じます。市民にも認知度が高まってきています。

また、飯山城の整備や重要建造物に指定された教会を中心とした、広小路

会議が活発になっており、飯山城を中心とした文化ゾーンが形成されていくのかなと思います。その意味でも地域の歴史をもう一度認識し、文化を発信できることがふるさと館に求められているのではないかと思います。よろしくお願いします。

5 協議（進行：会長）

（１）平成 29 年度事業報告について

（事務局）資料に基づき説明

（会 長）質問等ありますか。

（会 長）時々、寺町で観光客を案内しているボランティアの方達がおられますが、友の会会員もその中にいるのですか。

（事務局）友の会の寺町部会の方々の中で、案内を行っている方もいらっしゃいます。寺町の案内とともに、天候や時間、コースによってふるさと館にも足を運んでいただける事もあります。

（会 長）数式的にも多くなっていると思いますが。

（教育長）友の会からガイドは何回ぐらい行っていますか。

（事務局）こちらで把握していない部分もあります。ふるさと館に来てもらったり、ふるさと館を通して案内の場合は把握できますが、観光案内所が窓口になっている場合は、友の会会員がどれくらい活動しているか把握していません。

（委 員）ガイドブックを作り直したようですが。

（事務局）寺町の案内ガイドブック（寺めぐり案内手引書）の変更や訂正等に伴い、友の会の皆さんに協力いただいた改訂版を３月に発刊しました。

（会 長）いままでに、お見えになっている外国の方々は？

（事務局）「外国の方は、寺巡りになかなか参加されない」と、寺町部会の皆さんから聞いたことがあります。最近、英語版のガイドブックを片手に、この辺を散策されている姿を見るようになったので、ふるさと館にも来て頂けるよう努めていきたいと思います。

（会 長）そういう方は、小菅には行かないんですか。

（委 員）ご夫婦連れや２、３人で歩いている外国の方々を見ることもあります。野沢の方から歩いて来る外国人もいるようです。

（教育長）小菅の里（七星庵）にはお客さんが来ているのですか。

（委 員）ほとんど知られておらず、まだ２～３件ぐらいですね。一棟貸しなので難しいかと。

（委 員）寄贈された資料は、どこへ保存しているのですか。

（事務局）受理したものは、最終的に目録化しふるさと館で保管しています。大きいものについては、旧三中で保管しています。

（会 長）他には。

(委 員) 古文書はどうしていますか。

(事務局) 文化財係学芸員が目録化し保存しています。

(委 員) 昨年のデータによると、ふるさと館へ 8,819 名の方が入館したと考えてよろしいのですか。

(事務局) はい、そのとおりです。

(委 員) 約 8,800 人のうち有料単独入館者が 1,481 人、それを除いた人数が 6,000 人ぐらいいますね。

その数字には市内の小中学校 741 人と市外 600 人、あわせて約 1,300 人の子どもたちが含まれていると理解していいですね。

(事務局) そのとおりです。

(委 員) 武蔵野市の学校など今まで来ている学校へ働きかけたり、長野市や中野市など近隣にも働きかけているのですか。

(事務局) こちらから、案内を出しています。中野市・北信エリア・信越自然郷エリアにも PR チラシを配布しています。

また、学校の行事にも取り入れてもらえるよう努力しています。

(事務局) 平成 30 年度事業計画説明

(委 員) ふるさと検定は、この事業の中に入っているのですか。

(事務局) (ふるさと館事業には入っていませんが、) 文化財係として取り組みを行っております。

一般の方は 10 月の「秋まつり」に合わせて行い、学校では、中学生は秋頃、小学生は冬に入ってから授業の中で行っております。校長会にもお話をさせていただき、すべての学校に受けてもらえるように働きかけております。

(委 員) (以前から議題にのぼっていますが、) 駅周辺や町なかにふるさと館までの案内表示はできたのでしょうか。

(事務局) まちづくり課には、表示案内が足りないのではないかと声は伝えてありますが、必要な所にはすでに設置してあり、新たには予定していないようです。

(会 長) 企画展等の展示内容をデータ化しているのでしょうか。

(事務局) ホームページで開催報告として行っていますが、内容全体のデータ化は今のところ行っておりません。展示パネルなどの資料の貸し出しは行っています。

(会 長) ぜひ、データ化して学校へ貸し出すシステムなどはどうでしょうか。

子供たちへの学習用として利用活用を働きかけてほしいと思います。ふるさと館としての幅も広がるし、ここに来て見学するだけでなく、資料貸し出しによる「ふるさと学習」を教室の中で行うことができると思います。

4 その他

(事務局) 特になし

5 閉 会

(課 長) それでは、これで第 1 回運営協議会を閉会します。

9 月の丸山邦雄さんの講演会では、ふるさと館・文化財係もそれに合わせた取組みを考えていければと思います。

今日はお忙しい中ありがとうございました。